縁（ゆかり） NO.36	R6.2.9（金）	文責　坂本英明
学校教育目標　【自ら考え，判断し行動する子どもの育成】 重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間		

毎日，洗濯したハンカチを持たせてください

今，学校ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症など感染症が猛威を振るっています。ご承知の通り，学級閉鎖もあっています。これから卒業式の練習も行われますし，お子様が高校受験や大学受験を控えているご家庭もあると思います。

そこで，先日，「感染症予防につとめましょう！」ということで，手洗いやうがい，換気を再度徹底することを職員で確認しました。そのときに職員間で話題になったのが，「ハンカチを持ってきていない児童がいる」ということでした。普通，手を洗った後は，ハンカチで拭きますが，その児童はどうするのでしょう？

感染症が流行するのは仕方がないと考えています。しかし，そうならないよう予防することは必要です。学校でも指導しますが，**毎日，洗濯したハンカチを持参し，外から部屋に入るときは，手洗いやうがいをきちんとする**ようご指導ください。どのご家庭も，家族が感染しないよう，かなり気を遣われて生活されていることと思います。ご理解・ご協力をお願いします

さらに，**外出するときは，ハンカチやティッシュを持参することが当たり前**になるまで意識を高めていけるといいですね。

何のためにあるのだろう？

～自ら考え，判断し行動する子どもを育てるために～

「運動場は，真ん中でなく，端を通る」ことについて，子どもたちにも学校だよりでもお知らせしました。「なぜだろう？」と疑問を持つ子どももいると思いますが，その際，判断のひとつの手がかりになるのは，「運動場の目的」です。「運動場は，体育をする場所，休み時間に遊ぶ場所，緊急時に避難する場所」であり，「通路」ではありません。同様に，野球場やサッカー場，陸上競技場も端を通ります。

身の回りには，様々なきまりやルール，マナーがあります。その多くは，安全に過ごすために，周りの人が気持ちよく過ごすために，ものを大切にするために，集団の秩序を保つために，あるものです。ほかにも，「ものの目的」を考えると子どもにもわかりやすいようです。「ぼうしは投げてはいけません。」だけだと，靴を投げる子が現れます。「ぼうしは何をするもの？　靴は???」「ぼうしはかぶるもの，靴ははくもの，カッターナイフは紙を切るもの」と考えさせていけば，**投げてはならないものが，自分で判断できるように**なります。

きまりやルール，マナーに限らず，常日頃から**考える習慣**を身につけさせたいものです。そのためには，大人が考えさせる場を意図的に設定する必要があります。学校と家庭の両方で行っていきましょう。

※ただし，本校の運動場は，雨天時はプレハブ前が水たまりになりますので，その時はよけて通ることになります。早いうちに土を入れる予定です。

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm